

令和元年9月20日

国体出場壮行会 校長あいさつ

今月17日に、壇上にいる木村皆斗君と自転車競技部、中村圭吾先生と一緒に今年のインターハイ優勝校による教育委員会への表敬訪問へ行ってきました。

その際、柴原教育長から、「国体でも、結果にこだわらず、自分の持っているものを出し切ってください」との激励の言葉をいただきました。

この言葉で思い返すことがあります。

先週14日の土曜日、本校野球部は総和工業高校との秋季県大会2回戦に臨みました。

この試合は、橋本君と塩月君の1年次生バッテリーがノーヒットノーランという大変見事な結果を残してくれたのですが、それ以上に、私が素晴らしいと感じたのは、味方側守備の際に聞こえた内野、外野からの大きなかけ声です。味方を鼓舞しようとする、とても気持ちのよいかけ声でした。これで、バッテリーはどれほど勇気づけられたことでしょうか。このようなかけ声があったからこそ、「結果にこだわらず、自分の持っているものを出し切って」最高の結果が得られたものと思います。

さて、いよいよ今月28日から「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。

ライフル射撃部そして自転車競技部の皆さん。

繰り返しになりますが、結果にこだわらず、自分の持っているものを出し切ってきてください。

ライフル射撃部 吉田君の試合は、今年3月の全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会で見ました。その時の思いを胸に悔いのないパフォーマンスをお願いします。

そして、自転車競技が開催されている10月2日には、3年次生が会場の取手競輪場で応援することにしました。出場する選手にとっては大きなパワーとなると同時に、応援する3年次生にとっても、取手一高での大きな思いでの一つとなることと思います。これからの自分の人生を必ず支えてくれる一場面となります。彼らの走りを目に焼き付けてきてください。

今日は、同窓会の先輩達も駆けつけてくれています。

人との出会いを大切に
感謝の気持ちを忘れずに
苦しいときこそ頑張る

最後に「力耕不吾欺」

Heaven helps those who help themselves. 天は自ら助くる者を助く。

健闘を祈ります。